

会 議 録

会議の名称	西東京市教育計画策定懇談会第2回会議録
開催日時	平成20年7月30日 午後3時から5時まで
開催場所	西東京市役所田無分庁舎 イングビル3階第3・第4会議室
出席者	(委員)田中委員、本領委員、倉島委員、大橋委員、操野委員、清水委員、松本委員、北岡委員、上田委員、村田委員、石井委員 (欠席)山田委員 (事務局)青柳教育企画課長、清水企画調整係長、坂本企画調整係主事
議事	1 第1回会議 会議録等の確認について 2 「新しい学習指導要領 小・中学校学習指導要領改訂、移行措置等について」 講師：文部科学省初等中等教育局教育課程課 教育課程企画室長 神山 弘氏 3 質疑応答(フリートーク) 4 その他
会議資料	資料1 新しい学習指導要領 資料2 参照条文・総則 資料3 第1回会議 会議録 資料4 アンケート調査票一式(最終版) 資料5 西東京市教育計画(教育プラン21)計画進捗状況 資料6 西東京市教育計画の骨子(案) 資料7 西東京市教育計画策定懇談会開催内容一覧(案)
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
資料確認	
議事1 第1回会議 会議録等の確認について 座長：【資料3】は事前送付しているが、なにか指摘はないか。 座長：指摘があれば後日でもよいので申し出てほしい。最終確認は次回とする。	
議事2 「新しい学習指導要領 小・中学校学習指導要領改訂、移行措置等について」 講演【資料1、資料2】 講師：文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程企画室長 神山 弘氏	
議事3 質疑応答(フリートーク) 座長：教科の運用が進行しても、子どもたちには学習することが生活の向上につながるということに意欲が持てないのではないか。抜本的な改革が見えてこない。 講師：教科の論理と生活の論理について今回の改善は運用面が大きい。抜本的な改善については現段階ではその方向性が確立されていない。とりあえず、前に進むことも必要。 座長：「生きる力」が実質化すると、そのための学習塾が増えるのではないか。そういう議論はなかったか。 講師：学習内容を増やさずに時間数を増やしたことにより、その中での取組みを期待している。今後は10年を待たずに学習指導要領を見直すことはありえる。 座長：中身を濃くするために、今の教師に対する研修についてはなにか予算上の措置があるのか。 講師：全くないわけではないが、大きな措置はしていない。既存の研修を見直すことは可能ではないかと考えている。 A委員：小学校で時間数が増えると学校嫌いが増えるのではないか。 講師：すぐに悪影響がでることはないだろうと判断している。学ぶ楽しみを伝えることで時間増の悪影響を減らしたい。	

B 委員：子どもたちと向き合う時間が少ないことについて、担任を支援する施策を実施してほしい。  
講師：財政的な障害が大きい。事務体制を支援することなどで側面的に支援したい。多くの業務があることについては学校調査を減らすなどの対応をしている。さらに教師の負担減につながる施策をプロジェクトチームで検討中である。また、地域の支援を多くいただけるようにしたい。

C 委員：「生きる力を育む」については、若い人たちが生きる意欲を持てる仕組みが必要。

講師：学校教育の中でできる側面については可能な限り考えていきたい。また、大学とか企業にも働きかけている。

D 委員：今後、教師に対する研修が増えるだろうし、教員免許更新の研修もある。ますます子どもと接する時間が減る。教員定数の増員が絶対に必要と考える。

座長：他にないか。

#### 議事 4 その他

事務局：今後のスケジュールについて説明【資料 7】

座長：次回以降は計画の具体的な内容について議論する。

以上